

都市計画マスタープラン を策定しました

未来へ輝くまち
安芸高田

人口減少や少子高齢化の下でも持続可能とするため、
安芸高田市が目指すまちの基本構想を策定しました。

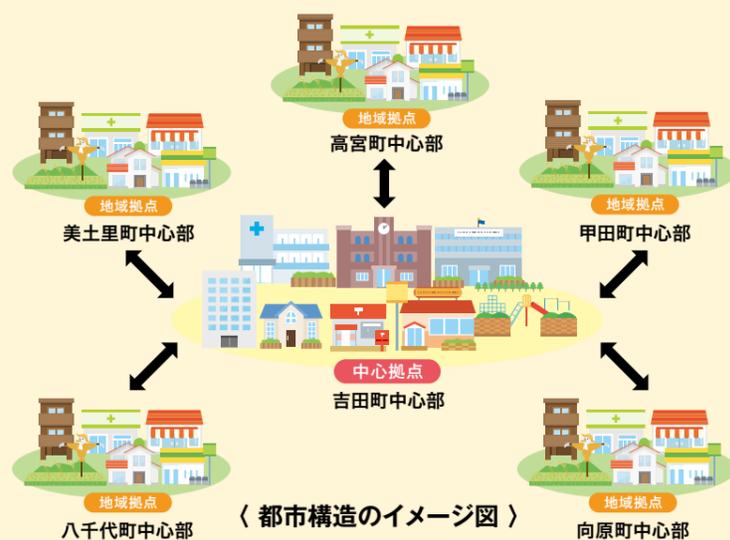


まちづくり 4つの基本目標

1 コンパクトな都市の構造

- 各拠点に都市機能を集約
- 地域拠点と中心拠点を結び、拠点間のつながりを充実
 - 地域拠点と周辺市町を結び、拠点の発展を促す

- 中心拠点**
大規模商業施設、総合病院などの都市基盤を支える機能
- 地域拠点**
日常生活を支える機能



2 活力の創出

各拠点の資源を生かした地域づくり
地域コミュニティの維持・強化

3 安全安心な居住環境の確保

災害に強い都市基盤を整備
災害リスクの低い地域へ居住を誘導

4 交通アクセスの確保

日常生活を支える持続可能な公共交通サービスを構築
市内外の交流を促進する交通ネットワークの強化

交通の将来像

「安芸高田市地域公共交通計画」を策定しました
マスタープランで示す将来像の実現のため、「目的地へアクセスできるやさしいまちづくり」を目指す「安芸高田市地域公共交通計画」を策定しました。この計画を基に、より具体的な内容を利便増進計画として2023年度に取りまとめます。

「安芸高田市地域公共交通計画」の基本方針

- 地域拠点と中心拠点は定時定路線で運行
- 周辺地域から地域拠点までは、デマンド交通(お太助ワゴン)などを運行
- デマンド交通の運行範囲は、利用状況を踏まえて最適な交通手段を検討
- お太助バス(支線)は、利用状況などから運行範囲を検討
- 高速バスとの乗り継ぎ効果を最大化
- JR芸備線の利用を考慮(甲立駅、向原駅と吉田町中心部の交通手段を検討)

問政策企画課 企画調整係 ☎お太助フォン 42-5612

初代国立劇場の ラストイヤーを飾る 記念すべき公演へ出演

1966年に開場した国立劇場は、各地に伝わる貴重な芸能を再認識し、地域の活性化に役立てることを目的に、全国の民俗芸能に取り組む団体を招致してきました。その国立劇場が今年の10月で建て替えのため一時閉場します。

閉場前最後の民俗芸能公演に芸北神楽が招待され、その代表として原田神楽団が出演しました。

公演のテーマは「未来へつなぐ」

古くから神事として舞われてきた神楽ですが、芸北神楽は、戦後、伝統的な要素を軸に娯楽性やストーリー性を取り入れ、時代に合わせて進化してきました。

その継承のされ方と公演のテーマが重なったこと、市がこれまで取り組んできた都市部での公演で認知度が高まっていることから安芸高田市の神楽団が招待されました。



迫力のある舞に、会場からは多くの拍手が送られました。



写真提供:国立劇場



公演DATA
 園6月17日(土)
 園国立劇場
 (東京都千代田区)
 出演:原田神楽団
 演目:八岐大蛇

問商工観光課 観光係 ☎お太助フォン 47-4024

世界に誇る安芸高田の宝、「神楽」の最新トピックをお届け!

Hi! School

吉田高校と向原高校の
特色ある活動をシリーズで紹介します。

吉田高校

文化祭の一般公開が4年ぶりに復活!

6月9日(金)、10日(土)に吉高祭「喜紡〜この楽しみはいつか言葉を紡ぐ喜びになる〜」を開催しました。初日は「動画祭」を実施。各クラスで動画を制作し、発表しました。投票の結果、最優秀賞は3年A組、優秀賞は1年A組と3年D組が受賞。1年生が上位に入るといふ異例の展開で、会場は驚きと歓声に包まれました。2日目は4年ぶりの一般公開。クラスや部活ごとに、グルメや展示物など趣向を凝らした出し物を展開。大いに盛り上がりました。

4年ぶりの一般公開だったためノウハウがなく、全てイチから考えて準備するのが大変でした。それでも、みんなで協力すれば何だってできるんだと感じることができました。来年の文化祭実行委員会のメンバーも、前向きにチャレンジしてほしいと思います。

文化祭実行委員長 3年 上野 遥琉さん



広島県立吉田高等学校 吉田町吉田719-3 ☎42-0031

